

阿蘇医療センター広報誌



Take Free

ご自由にお持ちください

冬号

2017年2月発行



Contents

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ◆表紙 P 1 | ◆看護部だより P 5 |
| ◆院長挨拶／地域医療連携部 P 2 | ◆トピックス P 6～7 |
| ◆外来診療体制 P 3 | ◆行事予定／編集後記／避難訓練／ |
| ◆部門紹介／健康管理アドバイス… P 4 | ちょっとひと工夫簡単料理 P 8 |

職員募集



事業管理者(病院長)挨拶



新年あけましておめでとうございます。皆様には良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は思いもよらない大地震に見舞われ、県内各地で甚大な被害が発生しました。

徐々に復興・復旧に向けた取り組みは進められてはおりますが、阿蘇地域にとっての大動脈路となる国道57号線・JR豊肥本線の開通は未だに見通せない状況です。

とりわけ国道57号線の不通は大打撃で、観光をはじめ教育・医療・企業等の生産的活動に停滞・遅滞をもたらしております。冬季の迂回路の道路状況はますます厳しくなり、熊本市方面からの通勤は不便に加えて凍結・降雪により危険が増します。

その対策として行政の尽力で、各機関では通勤・帰宅困難な職員の安全を確保するため宿泊施設の使用支援等の措置が講じられることになりました。この地域の多くの事業の機能継続性が確保されることになると思われます。

新しい年は地震による障害が一つずつ解消され、真に完全復興への始まりの年であってほしいと願うばかりです。

当院の診療体制としましては、常勤医師による常設診療科のほかに、これまで期日指定の◇リウマチ膠原病内科 ◇乳腺内分泌外科 ◇糖尿病・代謝・内分泌内科 ◇睡眠時無呼吸症候群の特殊外来を開設しておりますが、地震発生以降の医療需要の変化に応じて、◇神経難病 ◇小児PTSD(ストレス障害) ◇小児特殊疾患 を加えて開設しました。

その他の診療科につきましても整備を計画しておりますが、一方で、社会保障費の抑制を背景とした医療政策も推進され、これに適合する備えも必要になります。中でも大きな課題となっている「地域医療構想の策定」案が熊本県においても提示され、本年3月までに確定します。また、「地域包括ケアシステムの構築」については、阿蘇市でも更に具体的なことが検討され、医療・介護が融合したシステムの形成が進められることとなります。

今後は、医科歯科の連携もベースに、医療・介護に関わる地域の多職種間の「連携」を更に強くして、地域完結型の全人的な医療と介護の環境を構築していくことが必要になろうかと思います。

診療体制の整備は病院運営という点で一定の制約も伴いますが、医師をはじめとした人材確保に引き続き努力し、地域社会の要望にお応えできるよう取り組んでまいります。

各医療機関・施設・関係機関の皆様と協調し、より良い医療・介護環境づくりに寄与できればと考えております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

阿蘇医療センター 院長 甲斐 豊

地域医療連携部のご案内

地域住民の皆様には効率的な医療を提供するため、地域の先生方や介護関連施設との連絡・調整を強化し、密な医療連携を構築するための業務を担当しております。

地域の医療機関や様々な保健・福祉サービス機関との連携の窓口として、患者さんに切れ目のない医療・看護・介護サービスが提供できるよう支援・調整を行っております。

<地域医療連携部の業務内容>

■ 前方支援業務(病病・病診連携)

紹介患者さんの診察・検査の予約内容
地域医療機関との連絡調整
ご紹介患者さんの受入れ
医療と介護の連携推進

■ 後方支援業務

退院支援(在宅療養、転院、施設入所など)
介護保険、福祉制度に関する相談
在宅療養、病診連携、病病連携の調整
関係機関担当者からの連絡窓口
その他、介護、福祉、療養に関する相談

阿蘇医療センター 診療体制

外来診療体制

平成29年2月1日現在

診 療 科		月	火	水	木	金	土
内 科	午 前	湯本 信也 宮本 誠	宮本 誠 林 広隆	湯本 信也 林 広隆	宮本 誠 林 広隆	湯本 信也 宮本 誠	
	午 後	宮本 誠	湯本 信也 (HOT外来のみ) 佐藤英明(第2,4火曜のみ) 非常勤	休	休	休	
脳神経外科	午 前	甲斐 豊	甲斐 豊	休	甲斐 豊	甲斐 豊	
	午 後	休	休	休	休	休	
循環器内科	午 前	由布 哲夫	由布 哲夫	永吉靖央/老松 優 熊大病院循環器内科	平川 今日子 熊大病院循環器内科	永吉 靖央	
	午 後	由布 哲夫 (SAS外来のみ)	休	休	休	休	
小 児 科	午 前	橋山 元浩	興梠 雅彦 熊大病院小児科	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩	
	午 後	橋山 元浩	興梠 雅彦 熊大病院小児科	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩	
神 経 内 科	午 前	渡邊 裕文	休	渡邊 裕文	渡利 菜里 熊大病院神経内科	休	
	午 後	休	休	休	渡利 菜里 熊大病院神経内科	休	
整 形 外 科	午 前	休	松下 紘三 熊大病院整形外科	休	湯上 正樹 熊大病院整形外科	休	
	午 後	休	松下 紘三 熊大病院整形外科	休	湯上 正樹 熊大病院整形外科	休	
消化器外科	午 前	休	中川 真英	休	中川 真英	休	
	午 後	休	近本 亮(第3火曜のみ) 熊大病院消化器外科	近本 亮(第3火曜以外) 熊大病院消化器外科	休	休	
内視鏡検査	午 前	中川 真英	休	宮本 誠	湯本 信也	宮本 誠	
	午 後	中川 真英	休	宮本 誠	休	宮本 誠	
透 析	午 前	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也 (第1土曜以外) 三浦 玲(第1土曜のみ) 熊大病院腎臓内科
	午 後	湯本 信也	休	湯本 信也	休	湯本 信也	休

※ HOT外来…在宅酸素療法外来

※ SAS外来…睡眠時無呼吸症候群外来

その他診療科の診療体制

診 療 科	診 察 日 等	
リウマチ膠原病内科	第 3 水 曜 日	(終日) 中村 正 (くまもと森都総合病院)
乳 腺 内 分 泌 外 科	第 1 水 曜 日	(午後) 岩瀬 弘敬 (熊本大学医学部附属病院)
糖尿病・代謝・内分泌内科	第 2・4 金 曜 日	(終日) 小野 薫 (熊本大学医学部附属病院)
睡眠時無呼吸症候群外来	毎 週 月 曜 日	(受付：午後2時から午後4時まで) 由布 哲夫
■ 受 付・診療時間	一 般 外 来	午前 受付時間 8時30分から11時30分 (診療時間 9時～12時)
		午後 受付時間 13時から16時30分 (診療時間 14時～17時)
	小 児 科 (月・水・木・金)	午前 受付時間 8時30分から11時30分 (診療時間 9時～12時)
		午後 受付時間 13時から18時 (診療時間 14時～18時15分)
■ 救 急 外 来	24時間体制で対応しておりますが、当直医によっては専門外の場合もございますので、できる限り事前にご連絡ください。	

波野診療所

診 療 科	月	火	水	木	金	土
内 科・外 科	高野病院	渡邊 裕文	樋口 泰雄	休	林 広隆	
整 形 外 科	休	休	休	熊本整形外科病院 (午前中のみ)	休	
歯 科	高宗 康隆	高宗 康隆	休	高宗 康隆	高宗 康隆	

部 門 紹 介 ～薬 剤 部～

「安心・安全な薬物療法」の提供

薬剤部では、「安心・安全な薬物療法」を提供するために、昨年5月から病棟薬剤師を配置しております。病棟薬剤師の仕事は、患者さんが入院された時に持参された薬の内容について確認することから始まります。次に薬の指示が出た場合、電子カルテ（コンピューターを利用した診療記録）で医療薬学的に薬の内容を確認した後に調剤し、患者さんへ薬についての説明を行います。治療が順調に進み退院される場合は、退院時の薬についても、薬の作用・副作用・服薬上の注意点について説明しています。また、医薬品についての最新情報を病院スタッフへ提供することも、薬剤師の大切な仕事です。

病院で使用されるたくさんの薬の中で、抗がん剤は特に注意して使われる薬の代表です。当院では抗がん剤点滴治療をする時に、投与量・薬の組み合わせ・投与間隔などを確認できるレジメンシステムと無菌的に抗がん剤を調製できる安全キャビネットを導入し、抗がん剤点滴治療の安全性を向上させる新しい取り組みも始めています。

薬剤師は、安心・安全な薬物療法を提供するために日々、最新の薬物療法について勉強していますので、薬のことで心配なことは薬剤師にご相談ください。



上段右より、近藤 元三（薬剤部長）、中村 初美（副薬剤部長）、
吉田 昂平（薬剤師）、
下段右より、福山 萌（薬剤師）、西 千春（〃）、佐藤 みづき（〃）、
森 まりえ（〃）

健康管理アドバイス ～脳卒中のお話～

阿蘇医療センター神経内科部長 渡 邊 裕 文 医師



脳卒中は毎年約26万人の患者が発症し、約117万人（2014年厚生労働省患者調査）の推計患者数を有する疾患です。

脳梗塞は血管閉塞により組織障害が生じる疾患です。症状と一致する組織障害の部位と血流障害により組織代謝、機能障害を発症するも、まだ、組織障害には至っていない部位から成り立っています。近年、組織障害に至っていない部位をレスキューする治療が実践されています。具体的にはt-PA静注療法、脳血管内治療等の急性期血行再建術を実践するようになっていきます。当院では、発症から4.5時間以内のt-PA静注療法を実践しております。状況に応じて追加治療の可能な医療機関への搬送も行います。

脳出血は脳実質内の出血です。症状は急激に発症し、数分から数時間で症状が進展し完成します。脳梗塞より一般に急激で日中活動時に起こりやすく、頭痛や意識障害も高頻度に認めます。診断は頭部CT検査にて高吸収域として白く描出されます。好発部位として被殻、視床、橋、および、小脳があげられます。急激な脳圧亢進症状を呈し、意識障害が生じる場合には、手術療法による外減圧手術・内視鏡による血腫除去術・シャント手術といった治療を施行することもあります。

くも膜下出血は脳表面を包む、クモ膜の下腔への出血です。原因は動脈瘤の破裂、動脈解離、および、脳動静脈奇形からの出血があげられます。激しい頭痛、髄膜刺激症状、および、眼底の網膜前出血などを生じます。診断は頭部CT・MR検査で判明します。また、腰椎穿刺・脳脊髄液検査で血性髄液を確認することでもわかります。

治療は **1, 再出血の予防**……鎮静化での全身管理を行いつつ、72時間以内の手術療法を施行します。

2, 血管攣縮の予防……血液が付着した脳動脈に狭窄が引き起こされ、脳血流の循環障害が生じ、脳梗塞を発症することがあります。画像診断による血管評価を行い、薬物療法・手術療法による治療を行います。

3, 水頭症の治療……原因として髄液の吸収障害が起きます。認知機能障害、歩行障害などが発症します。手術療法による治療を施すこともあります。

これらの疾患は再発する疾患です。再発を防ぐためにも高血圧症、高脂血症、そして糖尿病といった生活習慣病の予防は非常に大切になります。加えて、禁煙と断酒も予防につながります。脳卒中は高齢者に発症する疾患です。より健康に年齢を重ねられるよう頑張りましょう。

看護部だより

今年初めて看護師教育研修へ外部施設からの研修生を受け入れました。

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者様の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康維持と福祉の向上に貢献する役割を担っております。看護部では、新人や中途採用者に対して年間の計画を立てて教育を行っております。今年度初めて、外部施設からの研修生を迎えることができました。昨年4月16日の本震のために4月の研修は途中で中止をせざるを得ませんでしたが、10月の看護部静脈注射研修には、坂梨ハートクリニック、協胃腸科内科、阿蘇やまなみ病院、大阿蘇病院、南阿蘇原眼科からの外部施設参加者5名の看護師の皆様に来ていただきました。外部研修受講者を受け入れるにあたり、職員は研修に来ていただいた方々に「受講して良かった」と思ってもらえるよう「もっと勉強しないといけない」と改めて感じました。

不手際な点が少々あったと思いますが、今後も阿蘇地域の教育拠点となれるよう研修プログラムを計画していきたいと思っております。来年度も是非研修への参加をお待ちしております。

看護部教育委員会 教育担当師長 後藤 美穂



この度、山梨県立大学の認知症看護認定看護師教育課程で、6月からの7ヵ月間、認知症看護のスペシャリストとなるための学習を受けてまいりました。病態や具体的な対応方法、社会資源などに加え、看護の歴史や倫理を座学や学習を通じ学び、自分のこれまでの看護を見つめ直す機会となりました。看護や医療は一人の力ではできません。今後は病院内で認知症を抱える患者さんが安心して入院生活が送れるように、認知症看護の基盤を整え、チーム活動ができればと考えております。認知症看護の基本は、その人らしさを支えることです。認知症という言葉に偏見を持たれやすいですが、地域の認知症の方々が住み慣れた阿蘇で、その人らしく暮らしていけるように地域全体で支えられるようになることが願いです。まずは実践を積み、大学での学びを還元できるよう認定看護師試験に向け、更なる努力をしていきたいと思っております。

2階病棟看護師 古澤明日香

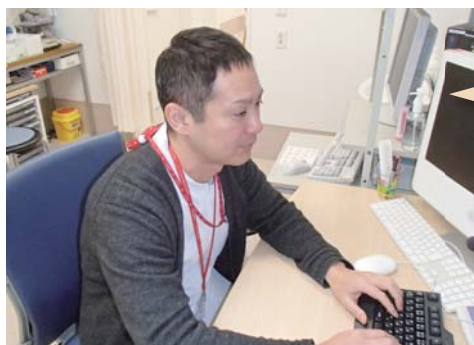
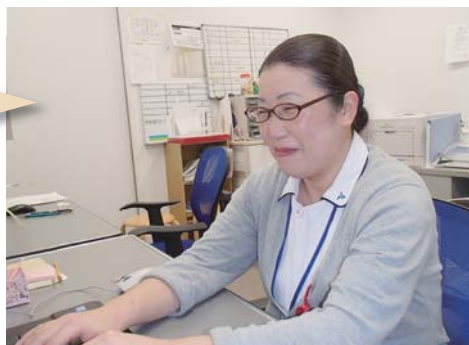


認定看護管理者（ファーストレベル）に合格！

認定看護管理研修（ファーストレベル）を受講して

昨年の熊本地震発災後、阿蘇地域の医療において当院の役割が高まっていることを実感しております。今回の研修で学んだことを活かし、地域住民の皆様のご信頼を得ることが出来る看護の提供を行っていきたく思っております。これからも宜しくお願い致します。

4階病棟師長 園田 弘美



この度、認定看護管理者〔ファーストレベル〕に合格しました。今回の学びを活かして患者さまに満足いく安全な質の高い看護サービスを提供できるように努力していきたいと思っております。看護管理者として職員の能力開発の支援と人材育成、地域社会との連携、社会資源を活用した継続看護ができるように日々精進していきたいと思っております。また、看護スタッフが円滑に業務を行えるように看護部門の組織体制の整備、職場環境、風土作りも重要になります。毎日切磋琢磨し、抱えている問題を1つずつ解決できるように頑張りますので、これからも、どうぞよろしくお願い致します。

外来師長 石田 洋昭

トピックス

● 平成28年度 救急医療功労者厚生労働大臣表彰 湯本信也副院長

● 9月9日（金）の救急の日に、厚生労働省において受賞式が行われ、塩崎恭久厚生労働大臣の代理として馬場成志（参議院議員：熊本県選挙区）政務官から、当院の湯本信也副院長に表彰状が贈られました。

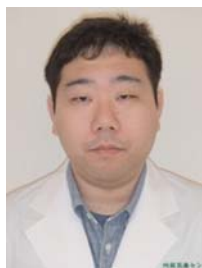
宿直勤務の際に熊本地震が発生し、発災直後から多くの救急患者の治療に当たられたこと、また永年にわたり救急医療への貢献又はその普及、啓発等により、救急医療に関して顕著な功績があったことが認められ、その実績が評価されての受賞です。

受賞式においては、湯本副院長が受賞者を代表して謝辞を述べられました。



● 災害派遣医療チーム（DMAT）2チーム目を結成

● 9月26日（月）～9月29日（木）に国立病院機構災害医療センター（東京都立川市）で実施された災害派遣医療チーム研修を受講し、4名の職員が新たに隊員資格を取得しました。これで当院が計10名の隊員となり2チーム編成となりました。また今回のチームは、熊本地震時の活動に加え、今回の研修で優秀な成績を収めたとして審査委員特別賞を受賞しました。



医師
林 広隆



看護師
渡邊 紘平



看護師
塚本 浩平



業務調整員
阿南 政憲

● 平成28年度 就業体験学習職場体験学習



阿蘇中央高校から2年生
7月6日（水）
～7月8日（金）



阿蘇中学校から2年生
9月6日（火）
～9月9日（金）



一の宮中学校から2年生
12月5日（月）
～12月9日（金）

看護体験をはじめ、院長先生と外来診療体験、リハビリ体験、手術室の見学及び放射線室・臨床検査・人工透析等の多くの職場を体験したことで、医師・看護師・薬剤師以外の臨床検査技師や臨床工学技士の仕事にも興味をもってもらいました。

職業体験終了後は、医療関係の仕事に就くため勉強を頑張りますと言っていました。甲斐院長からも「10年後に当院で働いてください。」と期待を込めて激励されました。

トピックス【出前講座】

阿蘇市サロンリーダー養成講座

・6月22日（水）に、阿蘇保健福祉センターで行われた「阿蘇市サロンリーダー養成講座」（参加者107名）において、「阿蘇医療圏の現状と将来への展望」と題して甲斐豊院長が講演を行いました。

各地区の福祉協力員やシルバーボランティアなどのリーダーの皆様を対象に、阿蘇地域における当院の役割や当院の機能について説明を行いました。



阿蘇市サロンリーダー養成講座

・7月20日（水）に、阿蘇保健福祉センターで行われた「阿蘇市サロンリーダー養成講座」（参加者117名）において、「歯周病の身体への影響～特に歯周病と全身疾患について～」と題して当院波野診療所の歯科の高宗康隆医師が講演を行いました。

歯周病が身体全体に影響を及ぼす大変怖い病気であること、またその予防や進行させない方法などについて説明を行いました。



阿蘇市民生委員児童委員協議会連合会

・8月10日（水）に、阿蘇市農村環境改善センターで行われた「阿蘇市民生委員児童委員協議会連合会」（参加者90名）において、阿蘇保健所長の服部希世子先生が「熊本地震から学んだこと」、甲斐豊院長が「熊本地震、その時阿蘇は！」と題して講演を行いました。

熊本地震の際の保健・医療活動や当院が災害拠点病院として機能を果たしたことなどについて説明を行いました。



阿蘇郡市教育研究会小・中学校養護教諭部会

・8月18日（木）に、熊本県阿蘇総合庁舎で行われた「阿蘇郡市教育研究会小・中学校養護教諭部会」（参加者29名）において、「1次救命処置とAED」と題して当院の佐藤邦昭臨床工学技士が講演し、併せて石田洋昭看護師長、岩本貴史診療放射線技師、溪村大地臨床工学技士が講師として実技指導を行いました。

インストラクターの資格を持つ講師からの心肺蘇生法について熱心に実技指導を受けられました。



内牧5区ふれあいサロン

・10月1日（水）に、内牧5区公民館で行われた「内牧5区ふれあいサロン」（参加者41名）において、「阿蘇医療センターの紹介」と題して当院の井野孝文事務部長が講演を行いました。

災害拠点病院、救急告示病院としての役割や熊本地震に伴う特殊外来の開設、地域包括ケア病床・開放型病床の開設などについて説明を行いました。



行事予定

- 1月4日 仕事始め
 1月20日 糖尿病教室
 2月1日 地域連携の会（サンクラウン大阿蘇）
 2月17日 糖尿病教室
 3月7日 肝炎サロン
 3月17日 糖尿病教室

エコノミークラス症候群
フォローアップ無料検診

平成28年12月3日
 (土)に、当院で行われた「エコノミークラス症候群フォローアップ無料検診」(受診者63名)において、熊本地震血栓塞栓症予防プロ

ジェクト(KEEPプロジェクト)と共同でエコノミークラス症候群(静脈血栓塞栓症)の検診を行いました。

県内外から、医師、保健師、看護師、検査技師、事務職員がスタッフとして参加し、検診にくわえて生活指導や弾性ストッキングの配布を行っています。

結果、5名の方に精密検査が必要な血栓が見つかり、精密検査が可能な医療機関へご案内しました。

火災避難救助訓練



平成28年11月9日(木)、当院において「火災避難救助訓練」を実施しました。

当日は担当職員による火災発生確認から消防署への通報及び初期消火の訓練、患者さんやご家族を想定した「避難誘導訓練」を行いました。その後、職員による消火器等を用いた各種訓練を実施しました。

ちょっと

ひと工夫簡単料理

管理栄養士 高橋 由香里



～鰯と野菜の味噌ホイル焼き～

材料(4人前)

タラ切り身……4切
 玉ねぎ……80g
 人参……40g
 しめじ……80g
 生しいたけ……60g
 白菜……160g
 油……小さじ2(8g)
 酒……小さじ3(15g)
 砂糖……小さじ2(6g)
 みそ……小さじ3(18g)

付け合せ

ブロッコリー……適宜
 ラディッシュ……適宜

栄養(1人分)

エネルギー……106kcal
 タンパク質……12.6g
 脂質……12.6g
 塩分……0.96g
 食物繊維……2.4g

コメント

タラは冬を代表する魚です。鍋物にいれるとおいしいですね。脂肪分が少なく、加熱しても硬くならず消化が良いのでお年寄りや胃腸の弱い方にも食べやすい食材です。旨味成分のイノシン酸やグルタミン酸を多く含んでいるので淡泊ですが美味しい魚です。

作り方

- ①タラは軽く水洗いし水気を切っておきます。
 - ②玉ねぎはくし形に切り、人参はイチョウ切り(型抜きしても良い)、白菜は荒い千切りに、しめじは石づきを切ってほぐし、生しいたけは4等分に切っておきます。
 - ③鍋に油を入れ玉ねぎ、人参、しめじを軽く炒め、生しいたけを加えて、酒、砂糖、味噌を入れて中火で少し煮て白菜を加える。白菜を加えたらあまり煮込まないようにします。(水分が出過ぎるため)
 - ④アルミホイルに③の野菜をしきタラをのせます。上からも野菜をのせてホイルに包みます。鍋に煮汁が残るので包む途中でこぼれないようにホイルの中に入れます。
 - ⑤④をオーブントースターで10～15分焼いたら出来上がりです。茹でたブロッコリーとカットして塩水に付けたラディッシュを付け合せにします。
- ※魚を生サケやアジに変えても良いでしょう。
 魚のにおいが気になる方は水洗いする前に、50度のお湯で洗うと気にならなくなります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年の震災により、震災前の日常を取り戻せていない方も多い中、昨年末の西原村の俵山トンネル開通で、今後のより早い復興を期待しているところです。

インフルエンザの流行時期となっております。予防のため、十分な休養とバランスのとれた食事、帰宅後の手洗い・うがいなど心がけましょう。

平成29年2月 阿蘇医療センター広報委員会

アクセス

- 🚗 九州自動車道熊本ICより車で約1時間10分
 ✈️ あそ熊本空港より車で約1時間5分
 🚶 JR 豊肥本線 阿蘇駅より徒歩10分



阿蘇市病院事業 阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266
 TEL0967-34-0311(代) FAX0967-34-2273
<http://www.aso-mc.jp> E-mail info@aso-mc.jp

阿蘇医療センター 地域医療連携部

TEL・FAX 0967-34-0463 (直通)

